

アイガモロボ現地検討会

5月30日、当普及センターの主催で、昨年に引き続き令和6年度アイガモロボ現地研修会を開催し、関係機関25名が参加しました

アイガモロボは、水稲の有機栽培に活用できる水田を自走する自動抑草ロボットです。田面水と土壌表層を攪拌することで雑草の発生を抑制し、水稲の収量確保や機械除草作業の削減による省力化が期待されます。現行機は約500台が販売され、より小型軽量で価格を抑えた新機種を開発中です。

普及センターからは昨年の調査をもとに、アイガモロボ導入により機械除草作業を慣行3回に対して1～2回削減可能なこと、労働時間が最大30%削減可能なことなどを説明しました。

次に(有)アグリ山崎の山崎氏から、有機栽培への取組やアイガモロボ導入のメリットなどをお話いただきました。参加者からは活発に質問が挙がり、関心の高さがうかがえました。

普及センターでは、引き続き有機農業に取り組む生産者の支援をしていきます。



令和6年度6月5日 坂東地域農業改良普及センター 土田（成長産業）